

情報システム調達における RFP のまとめ方

～過不足の無い RFP で最適なベンダー選定を～

研修の目的	企業や組織の情報システムを導入する際に、IT ベンダーを選定するために発行する提案依頼書(RFP)を質の高いものにして、最適なベンダー選定を目指す。
研修の特徴	講義と小グループでの演習方式である。グループメンバーと意見交換しながら RFP をまとめていくことにより、客観的な視点での RFP 作成ができるようになる。
研修の期間	2 日間(6 時間/日)
研修カリキュラム	<p>一日目:導入システム概要の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 情報システム導入背景・目的の明確化(講義+演習) ② 現状システム基盤の整理(講義+演習) ③ 業務分析、新業務フロー(講義+演習) <p>二日目:個別機能、RFP まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 要求機能の表現方法(講義+演習) ② ベンダー選定基準、質疑手続き(講義+演習) ③ RFP のまとめ(講義+演習)
研修の対象者	IT ベンダーに委託して情報システムの導入を行う企業・組織で、RFP を作成する担当者、及び情報システム企画担当者
研修講師	<p>山本 康(やまもと やすし) MITS コンサルティング 代表 IT マネジメント・サポート協同組合 個人会員 日本システムアナリスト協会 副会長</p> <p>情報システム開発会社にて、システムエンジニア、プロジェクトマネージャ、ERP パッケージコンサルタントを経験 独立行政法人情報処理推進機構(IPA)にて、IT スキル標準センター研究員(2009年3月まで) 情報システムの導入に関して、ユーザー側とベンダー側の両方の知見を持つ</p>